

I 道史編さん大綱〈抜粋〉

3 編さんの方針

- (1) 本道の歴史的な変遷を日本及び世界の歴史の中に位置づけること。
- (2) 最新の研究成果を取り入れ、高度な学術研究の水準を保つこと。
- (3) できる限り平易な表現で記述するとともに、多くの写真や図版を収録することにより、道民に親しまれるものとする。
- (4) 道内外の広範囲にわたり、資料の調査及び収集を行うほか、収集した資料の保存活用を図るとともに、資料の提示に重点を置いた内容とする。

4 道史の構成

道史は、第二次世界大戦後を主たる対象とする現代史（資料編3巻、通史編1巻又は2巻）を中心として、先史時代以後の歴史について叙述する概説のほか、年表により構成されるものとする。

（平成30年3月29日知事決定）

II 「北海道史編さん委員会 道史編さん計画」の概要〈抜粋〉

- ・第1回北海道史編さん委員会（平成30年6月28日開催）に事務局案として提出
- ・第2回北海道史編さん委員会（平成31年度）での審議を経て決定予定。

2 刊行の内容

(1) 誌名

現代史	「北海道現代史」「新修北海道史」… 【過去例】「北海道史」、「新撰北海道史」、「新北海道史」
概説	「概説 北海道の歴史」「北海道のあゆみ」「新修北海道史 概説編」 「図説 北海道の歴史」「目で見る北海道の歴史」…
年表	「北海道史年表」「新修北海道史年表」「新北海道史年表 増補版」 【過去例】「新北海道史年表」

(2) 巻数・形態・刊行部数

刊行区分		巻数	形態	刊行部数	
現代史	資料編	政治・行政編 1巻	A5/ 1,000頁 上製本	有償 300冊	無償 1,500冊
		産業・経済編 1巻	A5/ 1,000頁 上製本	有償 300冊	無償 1,500冊
		社会・教育・文化編 1巻	A5/ 1,000頁 上製本	有償 300冊	無償 1,500冊
	通史編	[1～2]巻	A5/ 1,000頁 上製本	有償 500冊	無償 1,500冊
概説		1巻	A5/ 600頁 並製本	有償 3,000冊	無償 1,500冊
年表		1巻	A5/1,000頁 (有償)並(無償)上	有償 3,000冊	無償 1,500冊

(3) 各巻刊行年

現代史 資料編 産業・経済編	2022年度
社会・教育・文化編	2023年度
政治・行政編	2024年度
通史編	2025/2026年度
概説	2027年度
年表	2027年度

4 編さんにあたっての留意事項

(1) 現代史

- 現代史は他の時代史に比べ、叙述や資料の収集選択には特別の難しさがあるが、公平で客観的かつ学術的に正しくあることに留意する。
- 対象時期は基本的に第二次世界大戦後から2000年頃までとするが、戦前・戦中からの連続性なしには説明が困難な事項や、2000年以降の展開にまで言及すべき事項もあることから、適宜幅をもって対応する。
- 資料編の作成にあたっては、道内外に広く資料を求め、文献資料を中心に、叙述の根拠となる多彩な資料の調査収集に努める。
- 資料編には、一般道民でも興味深く読めるよう、丁寧な解題や解説を付す。
- 資料編の資料が通史編の叙述の論拠となり、資料編・通史編の両方でより深い理解を促すよう、資料収集や編目構成に留意する。
- 現代史は、政治・経済・社会各分野にまたがる事象や、境界がわかりにくい事象が多くあるため、事前の棲み分けと担当者間の調整を入念に行う。
- 資料編の中のアイヌ史関係資料は、1つの巻でまとめて扱うのではなく、各巻各分野の中で過不足なく適切に配置する。

(2) 概説

- 概説の作成は、近年の研究成果の蓄積を反映させた学術水準の高いものであると同時に、一般道民にも親しみやすく理解しやすいものとなるよう、叙述内容や構成を工夫する。体裁上の工夫については、民間編集者の関与助言を検討する。

(3) 年表

- 「新北海道史年表」(1970年まで掲載)の増補改訂版とし、刊行直近年まで掲載する。
- 「新北海道史年表」を踏襲し、各項目には出典を明記する。